



# 研修報告書

尼崎市議会議員

山田 りな

日時：2025年2月7日(木)16時～17時半

場所：京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 京あんしんこども館

テーマ：子どもの事故(傷害)を防ぐための様々な活動

講師：京(みやこ)あんしんこども館センター長 長村 敏生氏

## 【概要】

京(みやこ)あんしんこども館は、「子ども保健医療相談センター」と「子ども事故防止センター」という2つの機能を持つ施設です。その管理運営は京都第二赤十字病院に委託されています。以下に、研修において特筆すべき3点の研修内容をまとめます。

1点目は、子ども保健医療相談センターについてです。保護者が抱える子育てに関する不安や悩みに、小児科医、保健師、看護師が電話で対応しています。また、以下の専門相談も行われています。子どもの発達、心や行動に関する相談は児童精神科を専門とする小児科医が担当しています。股関節、内股・外股、O脚・X脚に関する相談は、小児整形外科専門医が予約制で直接対応しています。

しかし、長村氏は保護者の利便性向上のため、電話に加えSNSを活用した相談体制の整備が必要だと提言されています。

2点目は、子ども事故防止センターについてです。子どもの死亡原因として上位を占める「不慮の事故」に対応するセンターです。同施設では、事故防止に関する情報提供と予防策の発信を行っています。また、家庭内の事故を学ぶため、実際の家具を展示した「セーフティハウス」があり、保健師や看護師による家庭環境に応じた個別指導を行っています。チャイルドシートや自転

車ヘルメットの重要性を訴える展示や子どもの視点で交通事故の仕組みを体験できるブースもありました。

3点目は、子どもの事故防止研修プログラムについてです。将来、幼児教育に携わる学生などを対象に、子どもの事故防止に関する研修を行っています。また、保護者への啓発を目的とした以下2つの講習会も実施されています。

保護者対象の講習会では、「心肺蘇生法」と「チャイルドシート装着および自転車安全走行」の講習会を定期的に実施しています。また、「プレママ・パパ教室」では、出産・育児および不慮の事故から子どもを守る方法を学び、安心育児を支援しています。

子ども対象の講習会では、近隣の小学校高学年生徒を対象に「心肺蘇生法講習会」を社会見学の授業の一環として定期的に実施しています。命の大切さや助け合いの精神、心肺蘇生法の重要性と必要性を伝えています。

私は尼崎市において、不慮の事故で命を失う子どもをなくしたいと考えています。今後も、私が所属する「子どもの事故予防防止議員連盟」で学んだ情報を活かし、尼崎市に提案していきます。また、同施設が実施している「プレママ・パパ教室」のような出産前のマタニティセミナーの中で、不慮の事故を防ぐためのセミナーの実施を要望しました。

日時:2025年2月7日(金)9時~10時半

場所:一般社団法人 えんぐらぶ・尼崎ユース交流センター

テーマ:10代の若者が孤立することなく、幸せに生きることができる社会の実現

講師:一般社団法人enGrab代表理事 桑原 陣氏

### 【概要】

保健師・看護師の資格を持ち、尼崎市役所で働きながら、尼崎市職員パラレルキャリア応援制度(副業)を活用して、子どもの権利と若年層の命を守る活動を続けている桑原氏からお話を伺いました。

研修会で特筆すべき点を以下に3つ記載します。

1点目は、尼崎市職員パラレルキャリア応援制度です。桑原氏はこの制度を活用し、一般社団法人「えんぐらぶ」を設立しました。研修では、「一行政保健師として政策形成に直接参画する仕組みがないため、尼崎市の副業制度を利用し、現場のニーズを把握しています。そして、パブリックコメント制度を通じて意見を提出しています。子どもの権利と若年層の命を守る活動を、民間団体の枠を超えて、行政サービスとして事業化することを目指している」とおっしゃっていました。

尼崎市職員パラレル応援キャリア制度(副業)は、尼崎市のホームページでは以下のように説明されています。

”社会・地域貢献につながる職務以外の活動に参加することは、社会や地域の課題解決に必要な強みを育むとともに、ワークライフバランスも向上し、公私共の充実などの相乗効果も期待できます。

地方公務員には営利企業等の従事制限がありますが、このような守るべきルールを踏まえたうえで様々な活動に携わり、多様なキャリア形成にチャレンジすることは可能で、すでに本市でも地域貢献やユニークな活動で活躍する職員がいます。

そこで、この度、地域や社会で活躍する職員やこれから挑戦しようとする職員の後押しと庁内における理解促進を目的として、「尼崎市職員パラレルキャリア応援制度(＝「パラキャリ応援制度」)」を次のとおり創設します。”

パラキャリ応援  
制度 その1

## 「相談窓口」開設

電話: 06-6489-6177  
mail: ama-zinzi@city.amagasaki.hyogo.jp

地方公務員には営利企業等の従事制限がありますが、そもそも許可が必要なケース、許可を取れば活動可能なケースと様々です。以下の例示のほかにも、迷つたり何か確認したいというときは、人事課職員が相談に乗り、踏み出そうとする職員を後押しします。まずはご相談ください！

社会・地域貢献

自己実現



無報酬で保護団や民生委員、電話相談員などの公益活動をしたいのですが。

報酬をもらって公益法人やNPO等の役員等はできますか？

無報酬でPTAや町内会等の地域団体の役員をすることになりました。

報酬をもらって地域のスポーツ少年団の指導者等はできますか？

講演や原稿執筆を行うことになり、講演料や原稿料をもらうのですが・・・



交通費など実費支給のみを受け取る場合、申請は必要ありません

### 許可申請が必要

市と利害関係のある団体、職務に支障が出る場合など、認められないケースもあります

手当が発生しない場合、申請は必要ありません

### 許可申請が必要

報酬が発生する場合は、申請が必要です

講演料や原稿料は、労働の対価となる「報酬」ではありません

ご注意

### 原則認められないケース

- ・営利を目的とする会社の役員に就任
- ・当該活動が職務遂行に大きな影響を与える恐れがある 等

2点目は子どもの権利です。子どもの権利条約には、第1条から第40条にわたって様々な権利が定められています。講師からは、妊娠や中絶に関して十分に守られていないとされる子どもの権利について説明がありました。

具体的には、妊娠や中絶において特に女性に偏った負担が存在すること、10代の予期せぬ妊娠、妊娠継続が子どもにとって最良の選択であるかどうかの判断、出産や中絶に必要な十分な情報が提供されていないこと、避妊に失敗した際の緊急避妊薬の入手の困難さ、高等教育の中止を余儀なくされる状況、さらには性暴力被害において申告が難しい場合の支援不足など、多くの問題点が指摘されました。

その中でも特に注目すべき課題として、第17条【適切な情報の入手】および第24条【健康・医療への権利】が挙げられました。講師は、「10代の予期せぬ妊娠を防ぐためには、性教育の充実だけでなく、避妊方法へのアクセス環境を整備する必要がある」と述べていました。

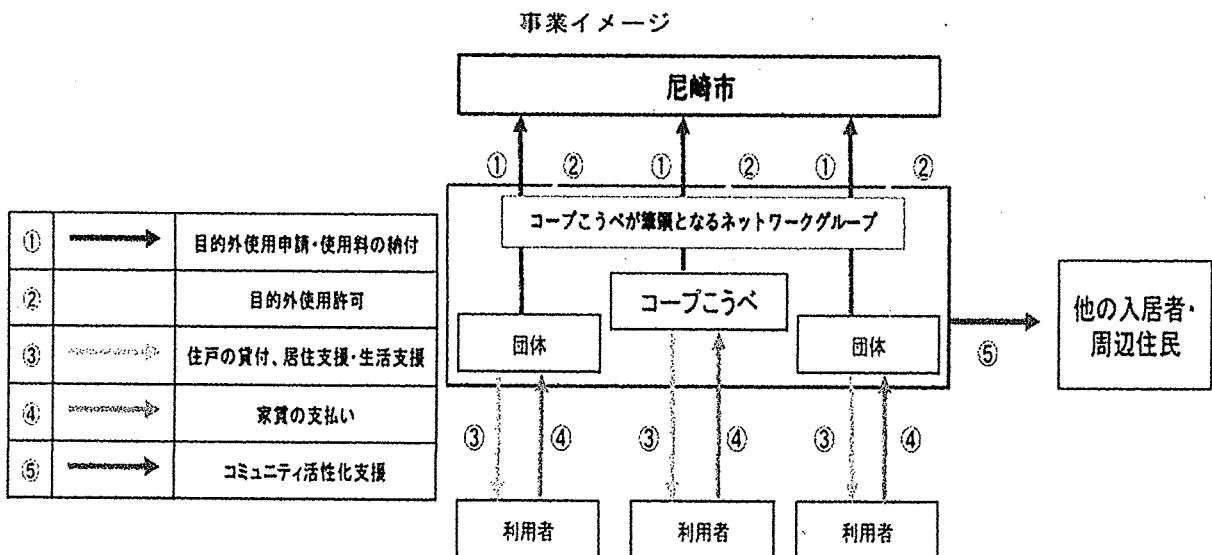
3点目は市営住宅を活用したリーフル事業です。講師が代表理事を務める一般社団法人「えんぐらぶ」では、市営住宅を活用したリーフル事業を利用しています。この制度では、尼崎市が対象団体に対して市営住宅の目的外使用を許可しています。対象団体は、この市営住宅を支援事業利用者への貸付や、団体の事務所や活動の場として活用しています。

なお、尼崎市のホームページには、リーフル事業に関して以下の記載があります。

”尼崎市は、4月1日から、生活困窮者などの居住支援を行うため、あまがさき住環境支援事業「REHUL(リーフル)」を開始します。その事業の先駆けとして市営住宅の空き室を活用し、生活協同組合コープこうべが中心となつて創設するネットワークグループとの協定を4月1日に締結して事業を開始します。

本市では耐震性に課題のある市営住宅の建て替えに当たって入居者募集を停止していることにより、年々空き室が増加しており、自治会活動に支障が出るなどの問題が生じています。

これらの課題を解決するため、空き室を各種支援団体や地域活動団体(以下、「対象団体」という。)の活動の場として低い料金で提供することにより、住宅確保など経済的に困難な事情を持つ人の自立を支援するとともに、入居者の減少を抑制して地域コミュニティの活性化を図ります。”



4点目は、「尼崎版ユースクリニック」です。ユースクリニックはスウェーデンで誕生した仕組みで、13歳から25歳の若者が自身を守る権利として無料で利用できる相談窓口です。助産師、看護師、臨床心理士、産婦人科医などの専門職が待機しており、家庭や学校の大人には相談しづらいことを話す場を提供しています。

相談内容は幅広く、心と体の問題をはじめ、親の精神疾患、人間関係、性に関すること、たばこやアルコール、デートDVなど、多岐にわたります。

尼崎市内では、若年層が専門職に相談できる窓口として以下の4つが挙げられます：

1. 伊藤産婦人科
2. 一般社団法人えんぐらぶ
3. あまがさきユース保健室
4. ヌック(子ども・若者のための相談所)

特に、桑原氏が代表を務める一般社団法人「えんぐらぶ」では、インターネット(旧Twitter)や中高生の居場所としてのリアルな場を活用し、ユースクリニックを運営しています。同団体では、性教育の実施、情報提供、避妊具や生活用品の提供、産婦人科受診支援、緊急避妊薬の費用負担なども行っています。

また、他都市の議員からも、尼崎市の取り組みとして「尼崎市職員パラレルキャリア応援制度」「若年層が性や心について相談できる無料窓口の設置」「市営住宅を利用したリーフル事業」を参考にしたいという声をいただいています。

私は尼崎市に対して、以下の3点①ホームページ上での人工妊娠中絶に関する情報提供、②予定外妊娠者が緊急避妊薬にアクセスできる体制の整備、③尼崎版ユースクリニックの周知と啓発活動の強化を要望しています。

日時:2025年2月7日(金)9時半~10時半  
12時半 14  
場所:京都府長岡京市 一般社団法人いんふあんとroomさくらんぼ  
テーマ:子どもの遊び場におけるリスクとベネフィットの考え方  
講師:一般社団法人いんふあんとroomさくらんぼ 代表理事 松野敬子氏

## 【概要】

松野氏は、50代で大学院に進学し、社会安全分野の学術博士号を取得しました。現在は保育園の園長を務めつつ、遊び場のリスクマネジメントに関する研究と提言を精力的に行ってています。

講師からは、2008年にイギリスで提唱された「リスクベネフィットアセスメント」という概念が紹介されました。この概念を基にした子どもの遊び場の設計について議論がありました。

子どもは失敗しやすいため大人よりもケガのリスクが高いものの、その生来的好奇心や探求心を安全のために犠牲にしてしまうと成長の機会を奪うことになります。「無傷で親元に返すことだけを目的とするなら、それは託児所になってしまいます。保育とは日々の活動を通して子どもの発達と成長を促すものである」と、講師は述べました。

松野氏が経営する社会福祉法人「さくらんぼ・かえで保育園」の園庭は、リスクとベネフィットをバランスよく考慮した設計がなされています。保護者もその考えを理解した上で子どもを預けており、園内でのケガの可能性も想定しています。

また、松野氏は「安全とは、許容できないリスクが排除されている状態を指す。重要なのは、許容できるリスクと許容できないリスクの境界を明確にし、それを共有するコミュニティが主体的に決定することだ」と語っています。

さらに、「危険を伴う行為こそが遊びの本質であり、リスクを完全に取り除いてしまうと遊びではなくなってしまう」とも述べており、事故防止だけにとどまらず、安全と利益のバランスを考えながら、子どもの事故予防議連として活動を続けていく重要性を強調されました。

私は尼崎市に対して、①子どもの遊び場や公園に「リスクベネフィット」の考え方を導入すること、②実際に遊びを経験する子どもの視点、また子どもを日々見守る現役保育士の専門的な視点を政策に取り入れることを要望しました。

今回の研修で得た知見を尼崎市政に活かしてまいります。

会員各位

研修会のお知らせ

子どもの事故予防地方議員連盟 会長

荒川区議会議員 菊地秀信

このたび、下記の通り研修会を開催いたします。ご多用中と存じますが、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

【プログラム】

1/6(木)

3:00 研修① 女性とママのための複合サロン piccola famiglia～小さな家族～

テーマ：小さいのちとお別れしたママ・ご家族へのグリーフケア

[https://ciao-bambini.jp/wp/?page\\_id=141](https://ciao-bambini.jp/wp/?page_id=141)

<https://hachidori-project.amebaownd.com/>

東大阪市東山町4-8 百光ビル3階

4:30 移動

14:44 新石切駅発→14:55 生駒駅発→15:41 竹田駅発→15:55 丸太町駅着

16:00 研修② 京(みやこ)あんしんこども館

テーマ：子どもの事故（傷害）を防ぐための様々な活動

<https://anshinkodomokan.jp/>

京都市中京区釜座通丸太町上る梅屋町174-3

7:30 移動

17:46 丸太町駅発→17:59 京都駅発→18:35 尼崎駅着

9:00 懇親会

1/7(金)

10:00 研修③ えんぐらぶ

テーマ：10代の若者が孤立することなく、幸せに生きることができる社会の実現を

<https://engrab.org/>

10:00 尼崎ユース交流センター見学

尼崎市若王寺2丁目18番4号 あまがさき・ひと咲きプラザ 3階活動支援室

10:30 移動

10:46 阪急園田駅発→11:03 十三駅発→11:29 長岡天神駅着

11:40 ランチ

12:30 **研修④** 一般社団法人いんふあんと room さくらんぼ 代表理事 松野敬子様

テーマ：子どもの遊び場におけるリスクとベネフィットの考え方（仮）

<https://infantroom-cherry.com/shogaiyobou/>

00:00 解散

#### 【費用】

研修②③④ 会員：無料、一般参加：1000円

研修① 会員、一般参加問わず一人 1500円の参加費がかかります。

以上